

BIO Mimetics

バイオミメティクス・市民セミナー

三浦 徹 (北海道大学 大学院地球環境科学研究所 准教授)

環境によって変幻自在に 姿を変える昆虫たち

2016年6月4日 (土)

会 場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 / W102
札幌市北区北9条西7丁目

時 間：午後1時30分から 午後3時30分



脚が3対6本で、翅が2対4枚。これが昆虫類の体の
つくりの基本です。しかし、これは種により実に多様で、さらに同種

であっても環境条件によって、様々に姿かたちを変えてしまうものもあります。これは

「表現型可塑性」という生物が皆持っている環境による柔軟性をうまく利用して、環境に適した形に変化させる
仕組みを進化的に獲得しているからなのです。同種であっても巣の中にソルジャーやワーカーが存在するシロアリやアリ、
幼虫のときの餌条件によって大顎の大きさをダイナミックに変化させるクワガタムシなど、昆虫たちがいかにして環境に
適応しているのかを紹介します。



10 mm



主 催：北海道大学総合博物館
共 催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
協 賛：高分子学会北海道支部
千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029

E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp